

須崎市地域公共交通活性化協議会

地域内フィーダー系統
事業評価(令和7年度)

須崎市基礎データ

須崎市は高知県中部に位置し、東西25km、南北13km、総面積は135.20Km²で、人口は18,826人(令和7年11月末)である。

須崎市における主な公共交通概要

鉄道

- ・JR土讃線

バス

(路線)

- ・高知高陵交通(株)
梶原～須崎線、矢井賀～須崎線
須崎～高岡線

(フィーダー)

- ・須崎市
南地区と市街地を結ぶ自家用有償旅客運送
(スクールバス)

- ・須崎市
浦ノ内地区と市街地を結ぶ混乗バス

離島航路

- ・市営巡航船
浦ノ内湾内の北岸と南岸を結ぶ
(離島航路運営費補助金対象)

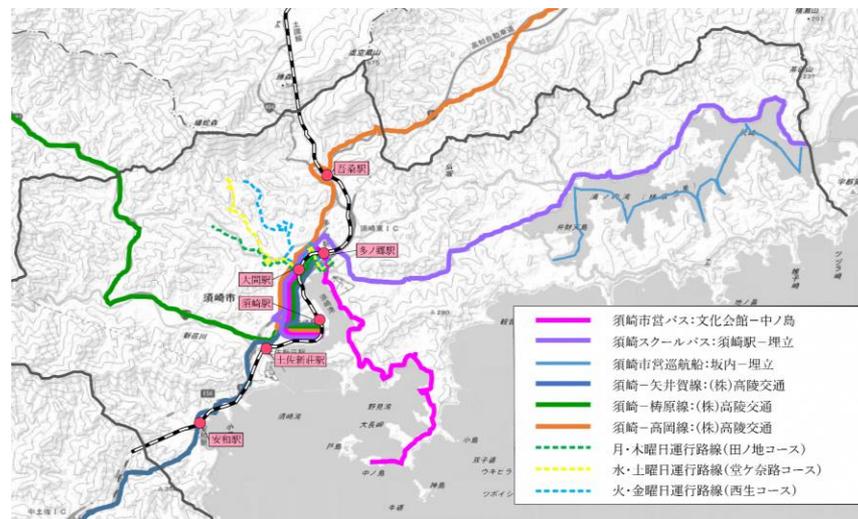
地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

南～須崎線の運行区域である南地区は須崎市南部に位置し、平成4年5月まで須崎港～野見湾を結ぶ巡航船が運航していた。しかしながら乗客の減少により廃止となり、以降代替バスを市が運行している。

市営バスは市街地と南地区を結ぶ唯一の公共交通であり、高齢者等の移動手段を持たない住民の通院や買い物等には必要不可欠な公共交通である。

今後においても地域住民の移動手段として、より利用しやすい公共交通の構築に向け取り組んでいく。

須崎市の公共交通ネットワーク図



協議会の構成員

四国運輸局高知運輸支局、高知県、高陵交通株式会社、
有限会社 さくら観光、須崎しんじょうハイヤー株式会社、
株式会社横浪交通、住民代表

前年度の事業評価における課題

「JRを含めた各公共交通機関とコミュニティバスの接続
等」を検討し、住民にとってより利用しやすいサービスを提供すること。

また、既存利用者の定着や新規利用者の獲得に向けた
取組を継続し、目標に向けて取組を進めること。

定量的な目標・効果

(目標)

人数: 21,303人

運賃収入: 3,856,000円

(効果)

定期路線バスを維持することにより、南地区だけでなく、市
営バス路線沿線に居住している高齢者や自家用車を持たない
住民の市街地への通院・買物等、外出の機会が確保でき
る。

フィーダー系統図



「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

R7運行年度中にJRのダイヤ改正があったが、小幅な変更にとどまったため、市営バスとの接続性は一定保たれた。

また、利便性の向上や利用者の維持・確保に向けて、他市町村のコミュニティバスの取組について視察・ヒアリングを実施し、今後の見直しに向けて検討を行っている。

自己評価

事業実施の適切性

計画通り、事業は適切に実施できた。

「定量的な目標・効果」の達成状況

【乗客数】	【運賃収入】	【収支率】
目標達成率:82.4%	目標達成率:106.5%	対前年比 :-3.9%
目標 :21,303 人	目標 :3,856,000円	対前々年比:-3.5%
実績 :17,563 人	実績 :4,107,300円	
対前年比 :92.7%	対前年比 :95.2%	
対前々年比:96.8%	対前々年比:111.7%	

公共交通計画策定時の予想を上回るペースで人口減少が進んでいることなどから、乗客数は目標を下回る結果となっている。また、物価高や人件費の増加により運行経費が大幅に増加しているため、収支率は悪化傾向にあるが、引き続き利用者及び収入の確保に努め、市民の移動手段としての役割を果たしていく。

今後の事業に向けた改善点

運行時刻やルートの変更について、市内小中学校統廃合に伴う児童生徒の通学利用を想定するほか、住民等から要望のある多ノ郷駅前(北側)を通るルートの検討を含むJRなど他の公共交通機関へのスムーズな乗り継ぎ等について、引き続き関係機関と協議・検討を行う。

その他PRポイント